

「役場庁舎の耐震化」設計・着工待ったなし

～これ以上の「先送り」は危険～

住民福祉の増進、町民本位の行政を行う拠点であり、コロナ感染症や災害時には緊急対策本部として住民の生命と財産を守る、それが役場庁舎です。

2018年度に「現庁舎を中庭に移転、新築する方針」を発表。しかし、同年発生の「大阪北部地震」により、遅れていた第四保育所の耐震化を前倒し、過密化・待機児童の解決を急ぎ増設も。第三小学校耐震化にプレハブ校舎建設が加わったことなど、過去5年間の「たらいまわし」課題を、この2年間で一気に解消させたことにより財政上の課題が生じています。

～地震・豪雨に耐えられない～



昨年度、役場庁舎の設計・着工の見送りを表明し、1年たった現在も具体化されていません。

今後想定される地震などへの対策・見通しが示されず、危険にさらされる環境で、職員が真に住民のための業務を行うのには限界もあります。

役場3階の議会棟は、ロビーの雨漏りにバケツを常時置いています。(写真左) 議会図書室・会派室(かわの執務室)も天井、窓のサッシから雨漏りし、(写真下) 阪神大震災以来の壁のヒビ割れが残ります。地下1階の電気室は浸水の恐れもあり、頻発する風水害や万が一の大地震に耐える環境ではありません。



れもあり、頻発する風水害や万が一の大地震に耐える環境ではありません。

～情報を公開し、再度の論議を～

公有地の有効活用や5億円規模に膨らんだ「国保基金」の活用など見直す、活かせる点があります。「清掃工場」焼却炉の運転方法や処理費用の見直し・ゴミ減量、なども引き続き求めていきます。

9月決算議会 主な議案 (本会議:9月3日～8日・常任委員会:10日～17日)

- 一般質問 議員9人から届出(9月3日予定)
- 清掃工場ごみ処理施設 改修工事
契約金額 2億4959万円
工期 議決日～2021年8月31日(2か年)
- コロナ対策の補正予算 ほか 28議案
- 2019(令和1)年度 一般会計決算
一般会計歳入 114億9740万7000円
歳出 111億5541万6000円
実質収支 6087万2000円<黒字会計>
ほか12件の決算審査

質問・発言 とりくみます!

- 介護福祉・教育保育現場などにPCR検査の強化・拡充を
- 介護事業所、利用者・収入減の補償を
- 公共施設・町営住宅の維持管理 ほかなど

新型コロナウイルス問題の

お困りごと、
町政への疑問・ご要望などは
町会議員 かわの恵子
携帯:090-7113-2234
ファックス 962-4003 まで



日本共産党がみなさんにお届けします

2020年 9月号 (通巻 第1433号)

島本民報

【連絡先】かわの恵子 島本町水無瀬2-3-3-506
☎ 962-1708 メール: k3kawano@yahoo.co.jp

発行: 日本共産党島本町委員会 TEL・FAX: 962-4003

まもなく9月決算議会へ～日本共産党島本町委員会の見解を紹介します。

日本共産党

子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう

保護者や女性団体から声が

「分散登校はゆとりがあり楽しかったのが、通常の35～40人定員ビッシリの授業になって『しんどい』『わからない』という子どもが出てます。」「当然、少人数学級にしてほしい!!」「毎日、消毒作業に加え児童がしていた『トイレ掃除』も教職員の仕事に。本会議での町教委の答弁の『問題ない、学校あげて取り組めてる』なんて実際は違いますよ!」「マスクで顔も覚えにくいし!」など…。

国の教員定数基準 改善を! 6月議会で「島本町議会から声をあげよう」かわの恵子は要望提出

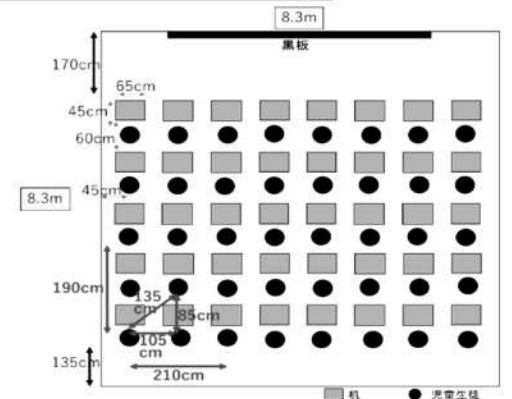
かわの町議は「コロナ感染防止のための十分なスペースの確保・教員10万人増などの整備・教職員定数改善の推進を求める意見書案」を出そうと、6月定例会前に町議全員に要望しました。自民・公明・維新会派の「反対」で上程はできませんでした。

文部科学省が8月6日に発表した「新しい生活様式」は「感染リスクの低いレベル1は40人学級でも可能」(右図参照)だと示しています。しかし、国・大阪府

の定数・配置基準のもと、島本町・小学校3年生以上はすでに46～47人の授業になる状況が続いており、レベル2以上の20人学級配置が必要です。

休校対策の「全員にタブレット貸し出しでオンライン授業」だけでなく、「少人数での平常授業」こそ、子どもたちに届ける安心の教育ではないでしょうか?

(参考) レベル1地域(1クラス40人の例)



知事・市長・町村会の提言(抜粋)

(2020年7月3日)

- 公立小中学校の平均面積は64㎡であり、現在の40人学級では感染症予防のための児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難。
- 少人数学級の実現へ教員の確保が是非必要



町会議員 かわの恵子

(略歴) 1964年生まれ。町立第3小学校・第1中学校・府立島本高校(7期生)・佛教大学社会福祉学科卒業、障がい者施設相談員として14年間勤務。ケアマネジャー資格取得。町議5期目 現在 総務建設水道常任委員